

自分に正直に行動することについて考えてみましょう。

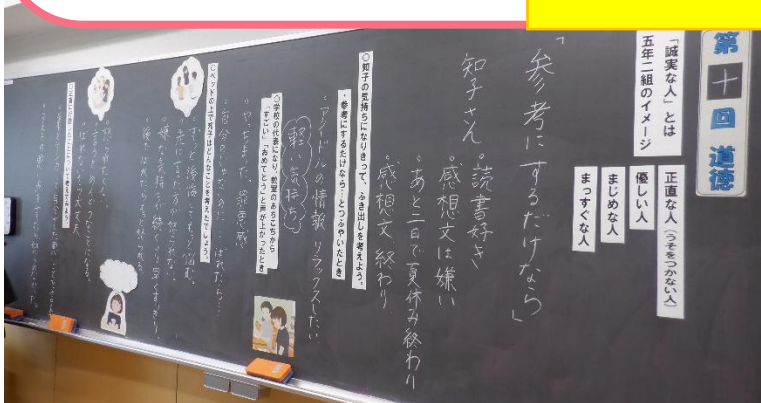
- ・親に悪事を正直に打ち明けたときに、受け入れられて嬉しかったのでこれからも正直でいたい。
- ・嘘をついてしまい、自分の心が苦しくなったことがあったので自分の心に正直でいたい。

5年

自分に正直に

(A 正直、誠実)

参考にするだけなら



実態

- 素直で前向きに考えようとする。
- 学級の6割が「道徳が好き」と回答。
- 嘘をついた経験がある。
- 「怒られる・怒られない」を基準に動く。

ねらい

★知子さんの行動や心情について話し合うことを通して、うそやごまかしをせずに正直でいることの大切さに気付き、誠実に明るい心で生活しようとする心情を育てる。

工夫

- ・教材を提示する工夫。
→アンケートや教具の活用。
- ・表現活動・話し合いの工夫
→デジタル学習基盤活用し、道徳的価値を深める。
- ・思考の流れが見える。
→構造的な板書。

ベッドの上で、知子はどんなことを考えたでしょう。

「参考にするだけなら…」とつぶやいた時の知子はどのような気持ちだったでしょう。

もやもやするから言おう。

ばれないから、大丈夫

黙っていると自分が苦しい。



ちょっと見るだけ。

真似するわけじゃないし。



協議会を通して学んだこと

- ・教材提示…画面で見せるねらいを考え、教材の世界観に入り込む工夫が大切である。
- ・ICT 機器…心情メーターを活用しての話し合いを行ったが、深まるより言い負かすことに重きを置く児童がいたので、勝ち負けではないことを度々指導することが必要である。
- ・終末……いまだに心に残っているような教師の実体験による説話で、自分に正直に行動することについてより自分事として考えを深められた。
- ・その他……友達との意見交換の時間により、活発な対話ができた。
教師の問い返しが、もっと早くあるとより効果的だった。